

熱湯をご用意ください。防爆エリアで使えます。

# 防爆型感知器加熱試験器



品番 FHT-3E

付属  
ナット

防爆型感知器

- 熱湯で感知器を作動させるため、防爆エリアで使用できます。
- 約4時間の連続使用ができます。(公称作動温度60℃感知器の場合)
- 垂直型の感知器試験もできます。
- HK-3型の加熱試験器の支持棒に取り付けて使用してください。
- (財)日本消防設備安全センターの評定品です。



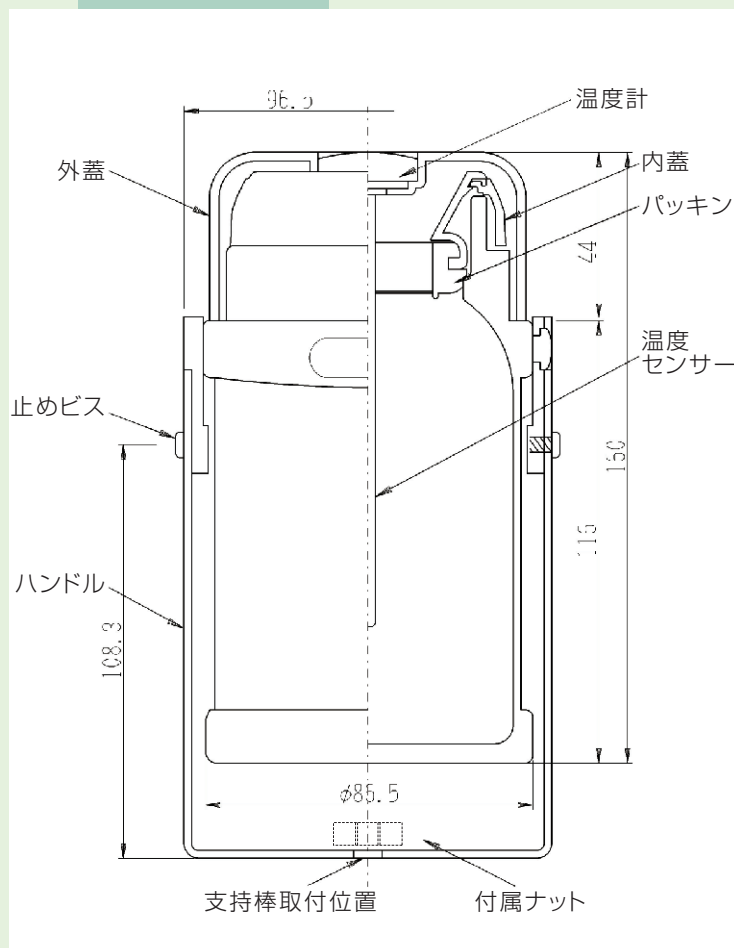
**日本フェンオール株式会社**  
FENWAL CONTROLS OF JAPAN, LTD.

# 防爆型感知器加熱試験器

品番 FHT-3E

## 主な仕様

種別	加熱試験器
品番	FHT-3E
評定番号	評13-185号
加熱媒体	湯
質量	約400g(湯を除く)
湯量	約450ml
適合感知器	FFH-2E、FFH-2EV 定温式スポット型感知器
主要材質	ステンレス



※本試験器は、(財)日本消防設備安全センターにより、消防用設備等の試験等に係る試験器具等の取扱いについて(昭和62年消防予第6号)別添1に掲げる「加熱試験器の基準」に適合するものと認められた評定品で、10年毎の校正が必要です。次期校正シールの確認をしてください。

※支持棒、取替え用内蓋、パッキンは別売りになります。

## 動作原理

試験器内の熱湯に定温式スポット型感知器(FFH-2Eシリーズ)の感知部を浸すと、感知器が熱せられて作動します。FFH-2Eシリーズは補償率方式(定温特性と差動特性を併せもつ方式)の感知器なので、湯(95℃以上)による急激な温度上昇によって、公称作動温度150℃の感知器も作動させることができます。尚、感知部をゆっくり加熱すると作動しませんので、感知部は一気に湯に浸して下さい。

### 作動試験を行う湯温の目安(室温20℃の場合)

感知器の公称作動温度(℃)	60	70	80	90	100	120	150
最低湯温(℃)	60	65	70	80	85	90	95以上



**日本フェンオール株式会社**  
FENWAL CONTROLS OF JAPAN, LTD.  
<http://www.fenwal.co.jp>

〒102-0072  
東京都千代田区飯田橋1-5-10(教販九段ビル)  
TEL 03-3237-3565  
FAX 03-3237-3569